

広い視野を持つことの重要性に気づいた実習

今年5月12日から一カ月、柏崎総合医療センターで総合診療学の臨床実習をさせていただきました。

日々の外来や病棟において、疾患の診断や治療だけでなく、患者さんの価値観や生活環境など多角的な視点を持つことの必要性を感じました。患者さんを一人の人間の全体像をとらえるといった、臨床現場で必要とされる姿勢を学ぶことができました。また、多職種との連携がいかに患者さんの支えになるかを感じることができ、チーム医療の大切さも強く感じました。さらに、柏崎刈羽原子力発電所の見学では、医療と地域インフラが深く結びついている現実を知り、地域全体を支える視点を持つことの必要性を理解しました。実習にご協力いただいた患者様やご指導いただいた関係者の皆様、心より感謝申し上げます。今回の経験を今後の学びと将来につなげていきたいと思っております。